

ラクトフローラ Lactoflora

Lactobacillus gasseri, Lactobacillus rhamnosus

ラクトフローラはナチュラルな乳酸菌製品です。使用にあたっては、以下の指示事項に従って下さい。

状態が悪化した場合、あるいはこれまでとは異なる症状がみられた場合には、医師に相談して下さい。

1. ラクトフローラとは？

女性の膣内フローラのバランスが崩れた場合、痒み、熱感、乾燥、異臭、分泌物等の症状がみられます。ラクトフローラには生きた乳酸菌が含まれており、ラクトフローラを膣内に挿入することで、乳酸菌が増殖し、膣内が酸性となります。その結果、悪玉細菌の増殖には不利な環境となり、膣内環境のバランスが正常な状態に回復することが期待されます。ラクトフローラに含まれている乳酸菌は、健康な女性から分離されたもので、病原性はありません。ラクトフローラの乳酸菌は、膣上皮細胞への接着性、増殖性、ならびに乳酸産生度に基づいて選択されています。

2. 使用上の注意

- 以下の場合には、ラクトフローラを使用しないでください。
 - ・ 乳酸に過敏症がある方。
 - ・ ラクトフローラの成分(例:ゼラチン)に過敏症のある方。

使用中の注意

不快感が悪化したり、分泌物に血が混入したり、という状態が治療開始から8日経過しても継続する場合には、医師に相談して下さい。細菌性膣炎以外の原因の可能性がありえます。

その他の薬剤の使用に関して

- ・ 膣炎の治療で他の薬剤や方法を使用している場合には、医師にその旨をお伝え下さい。
- ・ 本剤は局所投与と製品のため、経口剤や静脈投与製剤との相互作用の可能性は低いと考えられます。

妊娠および授乳期間

- ・ 妊娠期間中、ラクトフローラを使用することは可能です。
- ・ 授乳期間中、ラクトフローラを使用することは可能です。

車の運転および機械の操作

ラクトフローラが、業務上の安全性や自動車の運転に影響を与えるとの報告はされていません。

3. 使用方法

治療

毎晩就寝前にラクトフローラ1カプセルを膣の奥に指で挿入して下さい。これを毎日、6-8日継続します。一部の抗生物質(例:フラジール)を除いて、抗生物質との併用は推奨されません。

予防

生理直後に、毎晩就寝前にラクトフローラ1カプセルを膣の奥に指で挿入して下さい。症状が再発しない限りは、投与間隔を徐々に長くし、3月間継続します。

注意事項

カプセルを挿入する場合には、出来るだけ膣の奥に挿入して下さい。なお、挿入後、カプセルは5-10分程度で粘膜に

付着しますので、それまでは出来るだけ安静に下さい。カプセルを取り扱う指は、清潔な状態を維持して下さい。

小児

ラクトフローラは12歳以下の小児での使用経験はありません。

ラクトフローラの投与を忘れた場合

投与を忘れた場合には、これまで通りの投与を継続して下さい。投与を忘れたことに気が付いたからといって、倍量等を投与することはしないでください。

ラクトフローラの使用後に不快感を経験した場合

ラクトフローラが原因かどうかを判断するためには、ラクトフローラの使用を数日間、中止して下さい。

4. 副作用

- ・ これまでに実施された臨床試験では、副作用は報告されていません。
- ・ 副作用(と思われる)を経験した場合
医師に相談して下さい。医師は副作用がラクトフローラによるものか、あるいは他の原因に起因するかを判断し、必要に応じて治療を実施します。

5. 保管方法

本品は、子供の手の届かないところに置いて下さい。ラクトフローラの保存温度:常温。ただし、冷蔵することで保存期間中の乳酸菌の生存率が高くなります。使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限は、容器底に記載されています。開封されている場合、あるいは、容器に損傷がある場合には、使用しないでください。

6. 内容物

ラクトフローラ1カプセル中には以下の有効成分が含有されています。
Lactobacillus gasseri, EB01™:
活性乳酸菌として10⁸以上。
Lactobacillus rhamnosus, PB01™:
活性乳酸菌として10⁸以上。
合計で2 × 10⁸以上の乳酸菌。

その他の成分

ラクチノール単水化物、トウモロコシでんぷん、ゼラチン、キサンタンゴム、糖(無水)、マグネシウムステアリン酸塩、二酸化チタン

外観

白色粉末を含有した白色のゼラチンカプセル。

容器

アルミニウム容器、ふたのプラスチック部分に乾燥剤が含まれています。

数量

1容器に10カプセルが含まれています。